

日本周産期・新生児医学会
第43回周産期学シンポジウム
プログラム

2024年11月20日現在

■2025年1月17日(金) 13:00~18:30

【プレコングレス】 (産婦人科領域講習2単位)

13:05~13:50 プレコングレス1「多職種連携による新生児の痛みの予防と管理」

座長：水野克巳 (昭和大学医学部小児科)

演者：小澤未緒 (広島大学大学院医学系研究科)

13:50~14:35 プレコングレス2「新生児に対する外科的手術での鎮静・鎮痛・ストレス緩和—ガイドラインより—」

座長：渡井 有 (昭和大学病院小児外科)

演者：遠山悟史 (東京科学大学大学院心肺統御麻酔学分野 (周産期・小児麻酔学担当))

14:35~15:20 プレコングレス3「産科領域における鎮静・鎮痛・ストレス緩和—最新の知見をふまえて」

座長：加藤里絵 (昭和大学医学部麻酔科学講座)

演者：照井克生 (埼玉医科大学総合医療センター産科麻酔科)

【アフタヌーンセミナーI】 15:30~16:20 (50分) 共催：東亜新薬(株)/東亜薬品工業(株)

座長：鈴木俊治 (日本医科大学女性診療科・産科)

演者：兵藤博信 (東京都立墨東病院産婦人科)

「母体のための産科診療」

16:30~17:30 日本産科婦人科学会 災害対策・復興委員会セミナー「災害対策の礎 PEACEを知る」

(専門医機構 共通講習 (災害医療) 1単位)

座長：谷垣伸治 (杏林大学産科婦人科 日本産科婦人科学会災害対策・復興委員会 委員

／周産期・新生児医学会 災害対策担当理事)

演者：津田尚武 (久留米大学医学部産婦人科学講座 日本産科婦人科学会 PEACE刷新WG長)

「大規模災害対策情報システム PEACE のリニューアル」

植田彰彦 (京都大学産婦人科 日本産科婦人科学会災害対策・復興委員会 委員)

「大規模災害対策情報システム PEACE のシステム概要と操作体験」

【イブニングセミナー】 17:40~18:30 (50分) 共催：沢井製薬(株)

座長：伊東宏晃 (浜松医科大学)

演者：土肥 聡 (豊洲レディースクリニック)

「妊婦の低亜鉛血症の臨床的意義—母子の健康を守るために」

■2025年1月18日(土) 8:00~17:10 予定

周産期学シンポジウム：周産期における鎮静・鎮痛・ストレス緩和を再考する

【モーニングセミナー】 8:00~8:50 (50分) 共催：ファイザー (株)

新生児・乳幼児のRSウイルス感染症と母子免疫ワクチンによる予防

座長：亀井良政 (埼玉医科大学病院産婦人科)

演者①：飛弾麻里子 (慶應義塾大学小児科学)

「今だからこそ伝えたいRSウイルス感染症の現実」

演者②：谷垣 伸治 (杏林大学産科婦人科)

「母子免疫の実際～アプリスボから広がる赤ちゃんの健康～」

【午前の部】 9:05~11:55 周産期の鎮静・鎮痛・疼痛緩和 最新動向

(小児科領域講習予定・産婦人科領域講習2単位)

座長：宮下 進 (横浜市立みなと赤十字病院周産期科)

鷲尾洋介 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児急性疾患学講座)

[委員会報告]周産期学シンポジウム運営委員会 全国調査報告

東海林宏道 (順天堂大学医学部小児科学講座)

1. 帝王切開術に対する脊麻開始時の局所麻酔薬浸潤痛と心拍変動から導かれた疼痛指標としてのANIとの関連性
近藤弘晃 (北里大学病院周産母子成育医療センター産科麻酔部門)
2. 乳児期早期の頭部MRI検査における真空固定具の使用が引き起こす体温上昇の要因に関する検討
青木亮二 (日本大学医学部小児科学系小児科学分野)
3. 中期中絶・死産に対する経静脈鎮静における至適薬剤の検討
染谷真行 (札幌医科大学附属病院産科周産期科)
4. 早産児の急性期の鎮静薬としてのデクスメトミジンとフェンタニルの急性期・長期予後の比較
中内千春子 (藤田医科大学医学部小児科学)

12:05~13:55 共催セミナー

【ランチョンセミナー】 12:05~12:55 (50分) 共催：GEヘルスケア・ジャパン (株)

座長：市塚清健 (昭和大学横浜市北部病院産婦人科)

演者：武井黄太 (長野県立こども病院循環器小児科)

「胎児心機能評価の今 ~ベーシックからアドバンスまで~」

【アフタヌーンセミナーⅡ】 13:05~13:55 (50分) 共催：富士通 Japan (株)

座長：大槻克文 (昭和大学江東豊洲病院産婦人科)

演者：小松玲奈 (昭和大学江東豊洲病院産婦人科)

「胎児心臓スクリーニングの現状と未来 -AI搭載医療機器プログラムの実臨床応用-」

【アフタヌーンセミナーⅢ】 13:05~13:55 (50分) 共催：(株)エムエーアイ

*【アフタヌーンセミナーⅢ】は事前予約制

メインインストラクター：松岡 隆 (昭和大学 産婦人科)

「次世代型シミュレーターOPUSを用いた胎児超音波ハンズオンセミナー」

【午後の部】 14:05～17:10 周産期の鎮静・鎮痛・ストレス緩和 無痛分娩の実践と課題

(産婦人科領域講習2単位)

座長：金川武司（国立循環器病研究センター産婦人科部）
中畑克俊（MTM L.L.C.）

[委員会報告]周産期学シンポジウム運営委員会 全国調査報告
市塚清健（昭和大学横浜市北部病院産婦人科）

1. 若手医師が硬膜外麻酔の技術を習得する教育体制構築のための必要経験数と適切な症例選択の検討
稲村達生（トヨタ記念病院産婦人科）
2. 非侵襲的心拍出量モニタリングを用いた無痛分娩を行う心疾患妊婦の循環動態評価
澤田雅美（国立循環器病研究センター産婦人科部）
3. 双胎経膈分娩における無痛分娩の分娩転帰に対する影響
山本瑠美子（大阪母子医療センター産科）
4. 無痛分娩中の母体発熱が新生児予後に与える影響
山崎優（北里大学医学部産婦人科）